

研究に関する情報公開

< 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 > に基づき、研究の実施について情報を公開します。

<p>< 研究課題名 > COVID-19 アウトブレイク前後での急性心筋梗塞の疫学、治療、治療成績の比較に関する多施設共同観察研究</p>
<p>< 研究機関・研究責任者名 > 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 奥村 恭男</p>
<p>< 研究期間 > 承認日 ~ 西暦 2024年 3月 31日</p>
<p>< 研究の目的と意義 > 急性心筋梗塞は医学の進歩に伴い死亡率が改善傾向ではありますが、今現在も 10%程度が入院中に亡くなってしまいます。さらには、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 蔓延後に、COVID-19 を恐れるがあまり、心筋梗塞の診断や治療の遅れをきたし、死亡率が上昇する可能性が報告されています。本研究の目的は、当院と当院関連施設において、COVID-19 蔓延前後における急性心筋梗塞の疫学、治療内容、予後をカルテ情報から調査し考察することで、最終的には死亡率の改善につながる診断治療法を探求することです。</p>
<p>< 利用する試料・情報の項目 > 当院または当院関連施設に急性心筋梗塞の診断で入院となった患者様の臨床情報 (身体所見、血液検査所見など入院時に通常の診療で行っていること) 加療内容、および臨床経過・予後情報を用います。本研究において集出する情報はすべて、既存のカルテ内容から得られる情報のみであります。よって、本研究にエントリーされたから新たに何か追加検査を行うなどは必要なく、カルテから得られたデータを用いて探索的に解析を行います。</p>
<p>< 対象となる方 > 2019年4月7日~2021年4月6日の期間に当院へ急性心筋梗塞の診断で入院となった患者さまが対象になります。</p>
<p>< 研究の方法 > 上記該当期間内の患者様に関して、カルテを調べることで上記調査項目を探索的に抽出し統計学的に解析を行います。これらの結果は統計処置を行い集計するため、患者様のお名前や個人情報明らかになることはございません。</p>
<p>< 研究組織 > < 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 > 奥村 恭男 < 日本大学病院循環器内科 > 松本 直也 < 川口市立医療センター > 國本 聡 < 東京臨海病院 > 野本 和幹 < 地域医療機能推進機構 (JCHO) 横浜中央病院 ></p>

大岩 功治

< 春日部市立医療センター >

有馬 健

< TMG あさか医療センター >

春田 裕典

< お問い合わせ窓口 >

日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1)

循環器内科

氏名 : 奥村 恭男

電話 : 03-3972-8111 内線 : (医局) 2413 (PHS) 8050